

留学体験レポート

国際学部 2年 呉座谷 美可子

1. はじめに

4ヶ月のアメリカ留学で思い出に残っていることはAB(アクティビティーバディー)と、毎週の活動です。

2. AB の紹介

ABとは、現地の学生2人とESLの生徒1人がペアになり週に1度一緒に活動するという、ESLの授業に含まれている1つのプログラムです。私のABはMallyとMercedesという女の子2人でした。Mallyは小学校教育を専攻している2年生でとても明るく、犬と料理が大好きな女の子です。Mercedesは心理学を専攻している1年生で、元気でアートが好きな女の子です。

3. AB との活動

私は、MallyとMercedesと毎週様々な活動に参加し、いろんなところに出かけました。最初に会ったミーティングのときに、10月末の週まで毎週のプランを一緒に考えてくれたので、毎週会うのが最初から楽しみでした。

私達の最初のアクティビティーは、学校のアメリカンフットボールの試合を観に行ったことです。その日が私にとって初めてのアメフトの観戦でした。ほぼルールを知らない私に2人とも1つずつ丁寧に分かりやすい英語でルールを教えてくれたことを覚えています。Mallyの家で3人でスパゲッティを食べて、スモアをした日もありました。

その日は、宗教の話やタトゥーの話や日本語を少し教えたりして盛り上がりました。毎週会うたびに緊張がほぐれていき、だんだんと打ち解けていきました。ある日は、車で1時間くらいのショッピングモールに行ってお飯を食べ、買い物をしました。気になった服を何着も試着したり何枚も写真を撮ったりして1日過ごしました。一番思い出に残っている日は、Mallyの家族とMallyの彼氏とMercedesと私で車で2時間程のところのカンザスシティーに行き、日本食のレストランに行ったことです。まず、大きなホームセンターに行き、クリスマスのオーナメントを見て、そこからカンザスに向かい少しショッピングモールで買い物をし、夕方にレストランに行きました。そこでは私とMercedesはお寿司を食べました。アメリカのお寿司は少し変わったネタが多く、びっくりしました。Mallyもお寿司に挑戦すると言っていたのですが勇気が出なかったようでした。Mallyのお父さんから新潟のことについていくつか質問されたときは、自分の

育ったところについて知ってもらえて嬉しかったです。帰りにみんなでアイスクリーム屋さんに行きデザートを食べ、最高の1日を過ごせました。

4. 最後に

Mally と Mercedes と出会えてほんたによかったと思います。様々な体験とさせてくれた2人に本当にお礼を言いたいです。そして、いつも私のつたない英語をちゃんと聞いてくれて、分からなくなったら常に教えてくれて、会話に入りやすい環境をつくってくれたことが嬉しかったです。この2人とのアメリカでの思い出を大切に、連絡をこれからも取り合い続けたいです。そして、もう一度2人に会うことができるように、英語の学習もこれからも熱心に取り組んでいきたいです。